

Circulation Journal・会告の送付有償化と メールアドレス登録のお願い

一般社団法人 日本循環器学会
代表理事 小室一成

平素は学会活動にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

日本循環器学会では、刊行物の電子化を推進し、軽減される印刷並びに郵送費用を学会活動の一層の発展を目指し利用できるよう議論を行ってまいりました。電子化の状況と、冊子の送付有償化に向けた検討状況をご報告申し上げますと共に、会員の皆様をお願い申し上げます。

現在、正会員の方には Circulation Journal (月次発行)・会告 (3ヶ月毎発行)を希望の方に送付しております。Circulation Journal は2007年から J-STAGE における論文公開を行っており、1935年初刊である「日本循環器病学」から現在までの全論文を閲覧いただけるようになっております。

Circulation Journal は約17,000人・会告は約27,000人の方へ送付しており、印刷費用と共に郵送費用が巨額となっております。また Circulation Journal は論文投稿が増え採択が難しくなっていること、新たな分野からの論文を受け入れることを考慮し、本年秋より姉妹誌である Circulation Reports の発刊 (電子版のみ) を予定しております。

また、既にご報告申し上げますように当会におきましては「脳卒中と循環器病克服5ヵ年計画」の推進、「脳卒中・循環器病対策基本法」の成立のために尽力しており、今後の学会活動の一層の発展を目指しております。

こうした新たな活動並びに会員サービス向上の原資として、これまで会員へ無料で印刷・送付していた Circulation Journal・会告を、希望者のみに有償で送付するという提案をいたしました。その後、理事会・総務委員会・編集委員会で議論を重ねてまいりました結果、2018年度より以下の変更点について決定するに至りましたので、お知らせいたします。

会員の皆様におかれましては、現状をご理解の上、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお変更後におきましても、Circulation Journal の論文は一般に無料オンライン公開され、会告は会員にオンライン無料公開いたします。合わせて、メールにおける情報発信を積極的に行ってまいりますので、まだメールアドレスをお届けいただいていない方・変更となった方は是非登録をお願いいたします。

冊子体有償化による変更点

1. 冊子体の有償化は、Circulation Journal はVol.82 No.5 (4月25日発行)、会告は2018 No.2 (5月25日発行)より適用されます。
2. 冊子体を希望する会員は、年間購読料 (Circulation Journal : 4,000円・会告 : 1,000円、税・送料込) を自己負担することにより、冊子体を配布されます。

冊子体の購入を希望される会員は、所定の用紙 (裏面) にて事務局まで回答をお送りいただけますようお願い申し上げます。併せて当用紙にてメールアドレスの登録・変更を承ります。

会員の皆様におかれましては、今後とも日本循環器学会の運営にご支援・ご協力を賜れますよう、送付有償化にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。